

平成 24 年度 事業計画書

1. 公益社団法人としての諸規定等の整備・充実

公益社団法人への移行認定を受け、本学会の活動全般の見直し、制度改革・諸規定改訂等の見直し検討を実施して、早期に施行に移すと共に、諸事業の活発化と併せて財務の健全化を計画・推進する。

2. 東日本大震災復興に関する事業の実施

1) 防災・復興問題研究特別委員会を下記の組織で、研究活動・支援活動を展開し、報告会を計画的に開催する。

運営委員会

第1部会：復興まちづくり（東北支部と協働）

第2部会：都市防災（中部支部・関西支部と協働）

第3部会：社会システム再編

第4部会：アーカイブ

また、他学協会と積極的に協働して調査・研究・支援活動に当たる。

2) 下記 5. の研究交流組織への助成について、特別委員会でテーマを設定(防災・復興問題)のうえ、応募を募って応募申請が多数あった。

本年度も防災・復興問題をテーマに設定することも視野に入れておく。

3) 国土交通省国土政策局の地域づくり支援事業

「北上市、大槌町における生活支援のためのコーディネート事業」について着実に遂行する。

3. 特別委員会活動の充実

防災・復興問題研究特別委員会に加えて、以下の特別委員会活動の充実を図る。

1) 低炭素社会実現に向けた特別委員会

本委員会・自治体 WG・民間 WG・大学 WG・TX 沿線都市低炭素まちづくり WG の活動の中で低炭素都市づくりガイドブックの作成、又つくばエクスプレス沿線都市と協働して研究成果の実証等を行い、更に活動の充実を図り、その成果を社会に広く提言することを検討する。

特別委員会の設置期間を更に 2 年間延長（平成 25 年度まで）して、これまでの成果を更に充実させ具体的に活用できるよう定着を図る。

2) 出版特別委員会

今後の出版事業の展開に向けて、創立 60 周年記念出版事業の成果を検証する。

4. 研究交流活動の充実

研究交流活動助成を推進するため、研究交流特別委員会を継続して運営し、本年度も共同研究企画・社会連携交流活動企画の公募を行い、研究交流組織に助成費交付を行う。

平成 24 年度公募期間は、今後検討する。

自由応募と課題応募とで 10 件、延べ 500 万円助成の計画で予算措置。

また、これまでの認定組織の研究成果の公表の充実と、成果を水平展開するためのワークショップ等の開催を更に積極的に推進する。

5. 社会的活動の充実

本学会の様々な広報活動・事業活動を充実させ、機を捉えて情報発信、社会提言活動をより一層活性化させ組織充実を図る。

全国市長会との共催行事を更に充実を図ったうえで今年度も継続して実施する。各支部および本部で、都市計画に関連する様々な主体（特に基礎自治体）との連携強化を図る活動を更に積極的に展開する。

6. 都市計画 CPD 制度の充実

総務・企画委員会内に都市計画 CPD 活動の運営を検証するため設置した WG で更に CPD 事業が成果をあげようように内容の改革・充実を図り、システム再構築や各関係団体との提携について具現化する。

7. 本学会の情報環境の整備・充実

情報委員会の下に新たに設置した本学会の情報化の充実を図るため設置した検討 WG で、下記事項について詳細な検討を行い、平成 24 年度から順次段階的に実施していく。

- ・本学会ホームページの充実
機関誌の記事のウェブでの公開
- ・メールニュース配信等の新設・拡充
- ・論文等データベース
- ・都市計画論文集・都市計画報告集の公開方法の検討・実施

8. 国際的学术交流の充実

国際都市計画シンポジウム 2012 を開催する。

メインテーマ：「Smart City」

開催期間：2012（平成 24）年 8 月 23 日（木）～25 日（土）

開催地：台湾 台北市

開催会場：国立政治大学

主催団体：Taiwan Institute of Urban Planning

特別講演会の企画を推進する。

その他、国外の関係学協会との交流を更に強力に進める。

9. 機関誌等の刊行

機関誌「都市計画」を隔月刊行（平成 24 年度中 6 冊）する。

都市計画論文集（CD-ROM・2 枚及び冊子 1 冊）、都市計画報告集（CD-ROM・1 枚）を刊行する。

10. 英文ジャーナル発行の検討

関連学協会との提携を視野に入れて英文オンラインジャーナルの発行を検討する。

11. 学術研究論文発表会の開催

平成 24 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）の 2 日間にわたり、弘前大学文京町キャンパス内の施設において行う。

12. 都市計画セミナーの開催

平成 25 年 1 月 22 日（火）、23 日（水）の 2 日間にわたり、早稲田大学国際会議場において行う。

13. まちづくり懇話会及び見学会の開催

外部講師による懇話会を 3 回、及び現地見学会を 2 回行う。

14. 学会賞、功績賞・国際交流賞の選考・授与

都市計画の論文や設計等の中より優秀なものを選考し学会賞を授与する。
都市計画の進歩発展に寄与したものと国際的交流に貢献したものを選考して表彰する。

15. 報奨制度の充実

年間優秀論文賞・優秀都市計画ポスター賞等の報奨制度の定着を図る。

16. 委員会活動・支部活動

本学会の公益目的事業を各常置委員会・各支部において強力に推進する。
各支部での研究論文発表会を本部との連携のもとで充実させる。
九州支部は設立 20 周年を迎えるので、記念事業・記念式典を実施する予定。
中国四国支部は設立 10 周年を迎えるので、記念事業・記念式典を実施する予定。
平成 23 年 10 月 3 日付けで東北支部を新規設置し、支部活動を拡大・充実させる。

- ・支部定時総会：平成 24 年 4 月 21 日開催
- ・機関誌「都市計画」東北支部特集号の発刊
- ・2012 年学術研究論文発表会を弘前大学文京町キャンパス内で開催

以上